

1. 件名：「日立造船株式会社による使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請に関する面談について（25）」
2. 日時：令和2年9月25日（金）10時35分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 核燃料施設審査部門
石井企画調査官、上石安全審査官、尾崎安全審査専門職、森野安全審査専門職
日立造船株式会社
原子力機器事業推進室 主席技師 他2名
5. 要旨：
 - （1）日立造船株式会社（以下「事業者」という。）と使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明の申請に関して面談を行い、令和2年9月10日の面談を踏まえて整理した事項について、原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。
 - ・ 燃焼計算コードを用いた使用済燃料集合体の線源強度の算出において、入力条件の保守性について整理すること。
 - （2）事業者から、上記指摘を踏まえ対応する旨の回答があった。
6. その他：
 - 資料1 使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請書（Hitz-B52型）に関する設計方針概要

以上